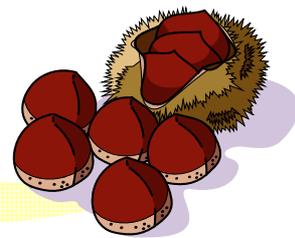


思川だより



平成29年11月1日 第60号

付替道路関連工事の状況

現在、思川開発建設所では、付替県道関連工事として「2号トンネル工事（H28.10.1～H29.12.20）」、「5号橋上部工工事（H28.10.5～H29.12.8）」、「粟沢7工区その2工事（H28.10.29～H30.1.11）」の3工事を実施中です。

付替林道関連工事については、「和田6工区他工事（H29.3.8～H30.3.10）」、「笹之越路4工区他工事（H29.3.8～H30.2.20）」、「西ノ入1工区他工事（H29.3.14～H30.2.26）」の3工事を実施しており、道路新設のための掘削や盛土の作業を行っています。

また、一時的な迂回路として使用する「中村地区取付道路工事」が10月に完成しました。引き続きダムの本体工事等を見据えた計画的な道路工事を進めていきます。



付替県道2号トンネル工事

【工事施工状況(平成29年10月)】

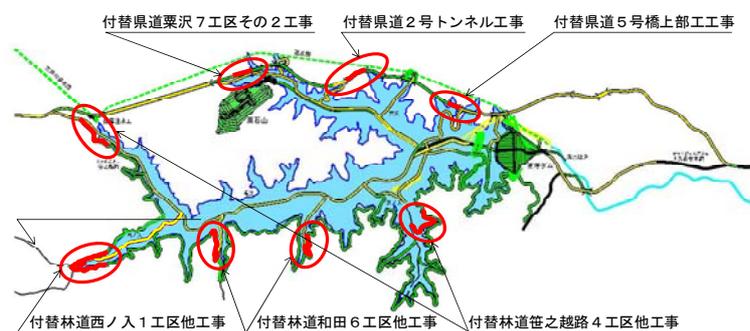


付替林道笹之越路4工区他工事

【工事施工状況(平成29年10月)】



なお、道路工事の現場は急峻のため、事故の無いよう注意を払うとともに、地域の皆様にもご迷惑とならぬように細心の注意を払い工事を進めて参ります。皆様方には引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



実施中の付替道路関連工事位置図（平成29年10月末時点）

ダムの豆知識 5

しゅっすいき ひしゅっすいき 出水期・非出水期

出水期とは、集中豪雨（梅雨）や台風等により洪水が起きやすい期間のことを言い、非出水期とはそれ以外の期間のことを言います。一般的な目安として出水期は6月から10月までとされています。

ダムの管理所では、出水期に備えて非出水期の間にはダム設備などが必要な時に確実に機能を発揮できるように詳細な点検や整備を行います。また、単に設備の点検に限らず、より良い操作方法の検討や訓練、河川管理者や関係自治体との連携など、多角的な視点から流域の安全の確保に努めています。

移転者ダム現場見学会

水没移転された77世帯の方を対象としたダム現場の見学会が平成29年10月21日（土）に開催されました。

台風21号の影響で小雨が降るあいにくの天気でしたが、見学会には26名の方に参加していただき、見学会の冒頭で当時住まわれていた地区の現在の様子をドローンで上空から撮影した空撮映像をご覧いただきました。参加者は、当時とは様



ダムサイト展望台での説明状況

変わりした風景を見ながら昔を懐かしんでいました。

その後、工事の進捗状況を説明した後に、付替県道2号トンネルと付替林道笹之越路工区ささのこえじの工事現場を見学していただきました。

付替県道2号トンネル内では、皆さんで記念撮影を行い、ふるさとの新たな思い出をアルバムに刻んでいただきました。

思川開発建設所では、地域の安全と安心を守るために1日も早くダムを完成し、移転していただいた方に報告できるように事業を進めてまいります。



付替県道2号トンネルでの記念撮影

かみなんま 第10回 上南摩そば祭りに思う

上南摩町自治会長 駒場俊雄こまばとしお

秋の彼岸を迎えたころ、ここ我がふるさとの上南摩は曼珠沙華まんじゅしゃげの真っ赤な花があちこちに咲き乱れ、見るほどに感嘆かんとんし、先祖の想いも浮き出させば、その花も隠れるまもなく、近くの畑地に一面に咲く真っ白なそばの花には、殊更ことさらに季節を印象づけられます。

今年は、いつもの猛烈な風雨は幸いに避けられましたが、そばの播種時期に梅雨の再来と思うような長く続く雨が降り、そばの実りが心配されていましたが、耕作関係者の頑張りで、この祭りに新そばを見ることが出来そうです。

鹿沼市内には140を超える自治会があり、それぞれ地域活性化の事業を行っています。上南摩町は世帯数が150という小さな自治会にかかわらず、地産のそばを生かした地域の活性化を『上南摩そば祭り』と言う形で表現し、今年で10周年を迎えられたことは、他の自治会や地域からはいつも垂涎すいぜん的となっています。今思うと10年前にそば祭りを始めた関係者の方々によるその一歩はさぞかしご苦労があり、大きな力が必要だったことでしょう。それに加え何よりもこの上南摩を強く思う心があったからと思います。そして、今日まで継続できたことは、関係者、地域の皆様の努力の賜物で正に「継続は力なり」と、ここに感謝を申し上げます。

この地域は、国家事業のダム建設と長年向き合っており、経験のない初めての建設事業に伴う事象に揺れる中、この祭りが地域のために末永く、大切に継続されることを願ってやみません。

《上南摩そば祭りは11月19日（日）に上南摩町自治公民館で開催予定です》



工事等への不当介入防止に向けて

ぼうはいきょうぎかい 思川開発事業暴排協議会を開催

平成29年8月29日（火）に「思川開発事業関連企業等暴力団等排除対策協議会通常総会」が開催されました。当協議会は、鹿沼警察署及び思川関連工事等に関係する行政機関並びに工事等関係業者との相互の緊密な連携により、工事等に対するあらゆる暴力的不当要求行為等を排除することにより工事等の円滑な推進と地域の安全を確保することを目的としています。

総会当日は、鹿沼警察署刑事課長をはじめ4名の顧問のほか、19名の会員の皆様に出席していただき、相互に情報の共有を図るとともに、警察等との連携が不当要求を排除していく上で極めて重要であるということを出席者全員で確認しました。



総会の様子

「利根川水系利根川・江戸川河川整備計画【大臣管理区間】」の変更

利根川・江戸川における具体的な整備内容を定めた「利根川水系利根川・江戸川河川整備計画【大臣管理区間】」が平成29年9月27日変更され、事業の目的のほか、施設（南摩ダム、黒川導水路、大芦川導水路）の諸元と機能の概要が明記されました。

思川開発建設所では、本変更計画に則し、今後も関係者の皆様と連携を図りつつ、速やかな事業の完成を目指してまいります。

【出典】 利根川水系利根川・江戸川河川整備計画【大臣管理区間】 <http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/index00000017.html>

再発見！鹿沼の魅力（第5回）

さんぜん たぎ
燦然と輝く彫刻屋台、燃え滾るような「ぶっつけ」

ユネスコ無形文化遺産

鹿沼秋まつり

画像提供：鹿沼市観光交流課

10月7日（土）から2日間にわたり開催された鹿沼秋まつりでは、鹿沼市街全域が祭り一色となりました。

道端では多くの出店が立ち並び、その間を、霊神を宿しているかのごとく荘厳で精緻な彫刻屋台26台が続々と通ります。秋晴れのなか彫刻屋台を曳く若衆のかけ声も、夕方になれば更にヒートアップ。彫刻屋台の提灯が灯り、一層の輝きを放つ彫刻屋台が街中へ繰り出され、主要交差点で対峙した屋台がそれぞれのお囃子を激しく演奏し合う「ぶっつけ」が行われると、見物客からは大きな歓声が沸きあがりました。



晩夏を感じさせないぶっつけに観客が轟めき合った

ぶっつけは翌日の朝からも行われ、一斉に屋台が動き出す「屋台揃い曳き」や、屋台の方向転換に使われる伝統技術の「きりん」に、観衆の注目が集まりました。2日に渡って行われた秋まつりは、終始熱気があふれていました。

和名：オオヒキヨモギ（種子植物、ゴマノハグサ科）

分布：本州の関東以西と四国、栃木県が分布の北限地とされる。

○栃木県：準絶滅危惧（「栃木県版レッドリスト2017改訂版」による）

オオヒキヨモギは、山地の尾根や低地のやや乾いた草地に生える高さ数十 cm の一年草です。半寄生種とされるものの何に寄生しているかは不明であり、自生地以外での育成が難しいとされています。

南摩ダム建設予定地内では、貯水池内の山腹斜面等で生育が確認されています。そのため、当建設所では自生地と播種地の微環境を比較し、播種地での確度の高い活着のための基礎資料とすることを目的として本種の生息環境調査を継続しています。

事業で現場の立ち入りを伴う作業を行う際に本種の生育確認地点を含む場合は、確認地点を迂回するなど、本種の環境保全対策に取り組んでいます。



栃木県内の地元かるたを用いて、

様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『下野かるた』（栃木県文化協会発行）からの紹介です。

下

野

か

る

た

くもみじの塩原温泉郷とトテ馬車

ゆっくりと深まる秋、いよいよ紅葉シーズンの到来です。今号では紅葉の美しい塩原温泉郷を取り上げました。塩原温泉郷は、箒川の溪谷に沿った温泉郷であり、大綱、福渡、塩釜、塩の湯など十一の温泉があります。毎年、多くの観光客で賑わう温泉地です。明治の文豪「尾崎 紅葉」が、山と溪谷、滝などを美文で描写し、一躍有名となったそうです。「トテ馬車」は、昔は地方の交通機関として重要な役割を果たしていましたが、今は観光遊覧馬車として、旅館街を蹄の音をたてて歩く姿が、塩原温泉の顔となっています。



編集後記

11月に入りめっきり寒くなってきましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

11月19日には、今回で10回目となる「上南摩そば祭り」が開催されます。

何かと忙しい師走まであとわずかとなりましたが、美味しい新そばを食べて頑張ってください。

お知らせ

▼思川開発建設所では、随時、現場をご案内いたします！詳しくはお電話またはHPをご覧ください！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募集しています！お気軽に下記連絡先までお寄せ下さい！

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>

思川開発

検索